

GREEN RANGER NEWS

2025 年 5 月号 Vol.369



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下101 番地 1
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

新緑の季節になりました。
付近をせわしく飛び回って
思ったのですが胸の縦線が無
です。又、昨年移植したナツ
いるので開花が楽しみです。



昨日我が家の庭でヒガラが5~6羽、ウメの木
いるのを見ました。最初シジュウカラかなと
く、ヒガラでした。我が家では初めての観察
ツバキは順調に育ち、たくさん花芽をつけて

GR ニュース 5 月号をお届けします。

【活動報告】

● 4 月 1 3 日（日）倒木処理、9m以上の樹木調査、自然観察、木工用材料準備

3 月は積雪で作業出来ず、初の活動日、小雨、水墨画の桜もいいだろうと出発。途中から一寸先
は闇、ライトだけでは不安になりハザードランプも点灯、道路を探しながら、何とか作業小屋に到
着、疲れた。そんな天気状況で新会員さんには申し訳ないが、とりあえず濃霧の中の散策という事
に。それでも、コブシが満開・イノシシの堀跡にフキノトウがいっぱい、なんとか見える。途中、
3 月に予定していた彩遊の森水場の水路補修を行う。二段三段の水場を造ったのだが、イノシシた
ちは満足せず自分好みに改造するだろう。カメラ設置完了、毎年の如くアズマヒキガエルから始ま
り、鳥や動物たちがそれぞれの行動を見せてくれるのが楽しみである。

そして、小鳥に来てほしいとコムラサキシキブの挿し木を小鳥の森に植えて頂くことにし、カメ
ラ設置班は別行動となる。リスの森の冬用カメラ、風か雪でやられたか 90 度傾いている。雪では
ないだろうが地面一面に白いものが、イヌコリヤナギの雄花だとか。カメラ設置も終り、そこらを
散策する。カタクリはまだ蕾、シュンランはもう少し、セリバオウレンは小さな白い花火の様、ス
ハマソウは残念ながら天気の子に閉じている。当園の新緑や花の宴が始まっているようだ。 参
加者：9 名

昼食後、霧が少し薄くなってきたので、安全のため、早めに解散とする。



散策、コブシ



彩遊の森水場の補修



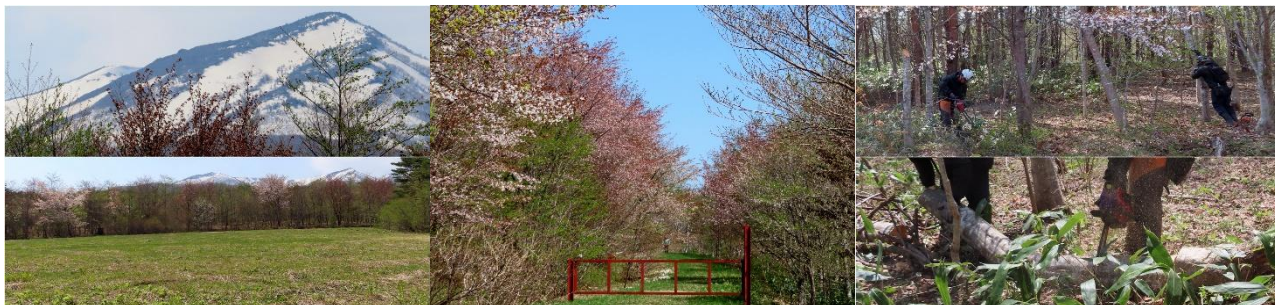
セリバオウレン、シュンラン

●4月27日(日)風倒木処理、自然観察

田んぼに水を引いてるところも。白石蔵王の水引入道(雪形)は現れてるだろうか。彩遊の森駐車場の東端まで行ってみた。植林した林で、不忘山も水引入道も全貌が見えない。成長が遅いと言われた森だったのに、凄いな、改めて成長ぶりにありがとう。その林からチエンソウが唸る。寿命もあるが風雪に耐えきれず倒木したヤマハンノキの処理が始まった。周りの木々の生育を助けて頂いてありがとう、また手を合わせていた。

チエンソウに背中を押されるように、アナグマの森での不要枝の処理、動物観察用カメラ班とに別れる。前会整備してもらった水場、イノシシに壊されていないのでほっとする。水面が落葉で覆われている。そっと除いてみる。なんと、あれから2週間しかたっていないのに、アズマヒキガエルの紐状の卵がワンサとある。あの体からこんなにいっぱい卵を産めるのか、これがどうなるのだろうか、カメラに託した。

前会は濃霧で花を鑑賞出来ず、今会も桜の開花にはタイミングが悪い、1週間後は散ってしまうかも。そんな気持ちを和らげてくれたのが、スミレたち。笹竹を刈り払い、陽が射すようになって復活した野草たち、元気に芽吹いてくれました。その出口、まだ寒いのに早々と現れました「シマヘビ」です。今年は俺の年だとアピールしたかったのだろうか、ゆったりと笹の根元に入って行きました。参加者:6名



水引入道現われる

彩遊の森幹道

倒木処理作業



アズマヒキガエルの卵

スミレたち

シマヘビ登場

■今後の活動について

【例会】

日時:5月25日(日)10:00

場所:作業小屋

内容:自然観察

【例会】

日時:6月8日(日)10:00

場所:作業小屋

内容:木工(ペンダント・コースター)、自然観察、フキ採り

【例会】

日時:6月22日(日)10:00

場所:作業小屋

内容:海岸林の看板製作、自然観察、フキ採り